



早くも11月になりました。先月は、季節はずれの台風が襲来。東京の大島では大規模な土砂災害まで発生しました。それでも季節は回り秋本番の11月です。今月大学は学園祭の季節。高校生にとっては大学の雰囲気を知る一端にもなる機会、大学生の知的レベルも発揮される場です。そんな秋らしい季節、今月もネットワークの活動と情報をお届けします。

◆ 目次

【1】最新活動報告

10月の活動を報告します。

【2】イベントカレンダー

これからの活動の予定などを紹介します。

【3】授業のヒント

【1】最新活動報告

■東京部会 (No61) を開催しました。

日時：2013年10月29日 19時00分～21時00分

場所：日本大学経済学部 本館中2階会議室

内容：参加者11名。

篠原代表からの活動報告について、3月のシンポジウムの内容の検討を行いました。テーマは「法教育と経済教育の対話その3」ということで、これまで2回のシンポジウムの内容を踏まえて、憲法学者、法教育関係者との深める内容のものとする方向が確認されました。次に、来夏の経済教室の日程検討を行いました。実践報告では、目黒東山中の三枝先生から「効率と公正」をテーマとした4時間の授業実践が報告されました。また、秋田国際大学でのマイクロ経済学の授業での実験経済学を踏まえた宮尾先生の実践が文書で紹介されました。会員の報告では、社会科教育学会での農業問題をめぐるシンポジウムの様子、自由研究で発表された入試問題プロジェクトの研究などが報告されました。東京部会関係で準備されているワークショップの報告もおこなわれました。

内容の詳細は、まとめ次第HPにアップします。それをご覧ください。

【 2 】 イベントカレンダー

(1) 定期部会

東京部会 (No62) を開催します。

日時：2013年11月26日(火) 19時00分～21時00分

場所：日本大学経済学部 本館中2階会議室

参加方法は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo062flyer.pdf>

札幌部会 (No. 8) を開催します

日時：2013年11月30日(土) 14時30分～17時00分

場所：キャリアバンクセミナールーム

札幌市中央区北5条西5丁目7番地

sapporo55 5階 (JR札幌駅紀伊国屋のビル)

参加方法は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/Sapporo/Sapporo008flyer.pdf>

京都部会 (No. 22) を開催します。

日時：2013年12月6日(金) 19時00分～21時00分

場所：同志社大学 良心館4階第二共同研究室

参加方法は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/kyoto/kyoto022flyer.pdf>

大阪部会 (No. 36) を開催します

日時：2013年12月14日(土) 18時00分～20時00分

場所：同志社大学 大阪サテライト

大阪市北区梅田1-12-17 梅田スクエアビルディング17階

参加方法は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/osaka/Osaka36flyerR.pdf>

(2) シンポジウム、ワークショップ関係

ワークショップ福井を開催します

日時：2013年12月17日 14:00～16:30

場所：福井大学文京キャンパス

参加方法は以下のHPをご覧ください。

http://www.econ-edu.net/announcement/WS_Sympo/WS%20Fukui201312.pdf

ワークショップ神奈川を開催します

日時：2013年12月21日（土）14：00～16：30

場所：神奈川県立平塚農業高校初声分校

詳細がまとまり次第 HP に掲載します。

シンポジウムを開催します

日時：2014年3月22日13：00～17：00

場所：同志社大学

詳細がまとまり次第 HP に掲載します。

(3) ネットワーク関連団体の動き

- ・全国中学校社会科教育研究会・近畿中学校社会科教育研究会 大阪大会

日時：11月7日（木）～8日（金）

会場：クレオ大阪中央（初日）、大阪教育大学天王寺キャンパス（2日目）

<http://www.nri.com/jp/event/forum/entry.html>

奥田先生により札幌で紹介された新教材の提案などが予定されています。

関心のある先生方をぜひお誘いください。

参加方法は以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/etc/2013Zenchushaapply.pdf>

- ・第23回ミニネタ研

日時：11月23日（祝）13：00～17：00

会場：高津ガーデン（大阪上本町）

<http://www.econ-edu.net/announcement/neta/Mini-Neta%2023rd%2020131123.pdf>

- ・第32回授業のネタ研究会 IN 関西

日時：12月22日（日）9：30～17：00

会場：エル大阪（天満橋下車西5分）

<http://www.econ-edu.net/announcement/neta/32nd%20neta20131222.pdf>

【 3 】 授業のヒント

■ 入試問題を逆手にとる

山形大学で開催された社会科教育学会で発表した内容の一部を紹介します。

入試問題プロジェクトを結論として、入試問題を改善するには大学側に要求する

だけでなく現場でできることをやってゆくという提案をしました。そのひとつがこの入試問題を逆手にとるといふものです。入試問題のリード文には、よく練られてメッセージ性が高いものが結構あります。

ところが生徒も教える教員も残念ながらリード文にそれほどの価値を置いていません。極端な場合は、リード文は読まなくてよいという指導を行うこともあります。

それではもったいないし、入試問題を改良するためにも、リード文を逆手にとってそこから授業を構想することもできるはずだし、それをやってゆこうといふものです。

例をあげます。2013年の大学入試センター試験の第4問のリード文です。市場メカニズム、市場の失敗を取り上げた最後の段落で次のように言います。「このように、正と負の両面を踏まえると、市場取引を支えるルールのもたらす光と影とを認識し、日本経済、さらには世界経済の発展を考えていかなければならない。」といふものです。

すばらしい文章です。設問は、日本経済の下にアンダーラインを引き、戦後日本経済に関する知識問題が出されているだけです。でも、市場取引を支えるルールの光と影とは何か、また、それを踏まえると日本経済、さらには世界経済を発展させるには何が必要なのかに関しては言いつばなしで、何も問われていません。生徒に200字でも、400字でも論述をさせることで、知識を踏まえてそこから何を考えるべきなのか、を生徒が自らつかむ可能性がでてくると思うのです。この最後の問いに答えるために、それまでの設問があるという位置づけがはっきりするし、本当にその知識が必要なのだという吟味、洗い直しもできるはずで

す。言語活動の充実がいわれられていますが、こんな足元に貴重な素材が埋まっているとするとそれを活用しない手はないのでは、というのが今回のヒントです。(新井)

【 4 】編集後記 (みみずのたはこと)

プロ野球は日本シリーズ最中。このたはことで、日本ハムの大谷選手の話を書きました。

比較優位による完全特化を私は考えて、二刀流には否定的な意見を書きました。でも、範囲の経済を考えると二刀流もありうるという指摘をうけて様子を見ようということでした。さて、結果は？評価は難しいというのが現在のところ。投手としては3勝、打者としては2.38。日ハム不振の原因は彼にありという厳しい意見もあります。でも、人気者でマーケティング効果は大有りです。

彼自身は来期も二刀流を続けるようです。さてどうなるか、来期末には結果が出るでしょう。(新井)

=====
登録に心当たりのない方、今後配信を希望されない方は下記会員ページよりお
手続き下さい。

<http://www.econ-edu.net/aboutus/contact.html>

=====



編集・発行 : 経済教育ネットワーク

————— (C) Network for Economic Education ◆◆